

長岡税務署長賞

花いっぱい町

新潟県立長岡高等学校

二年 大橋 優羽

私が住んでいる町は、花があふれる町である。等間に並べられた街路樹の間には、小さな花壇があつて、いつも季節の花が咲いているのを町を歩く際は毎度目にしている。それに加えて、花が咲いている大きな施設もある。私はそもそもこの花いっぱいの町が好きだったが、この花たちは市民一人一人から集めた税、地方税の一部をつかって植えられているのだと知って、さらにこの町に、感謝の念も抱き始めた。

地方税とは、会費の意味を強く持つ税だ。地方の公共施設の運営のためにその地域に住む住民から税金を集め、市町村が管理している。その中でも今私たちに最も身近なものの一つに個人住民税がある。これは、その市町村の住民一人一人が納入する税金だ。これを含めた地方税は、消防や警察、水道、公共施設の運営など、生活に必要な様々なものに使われるが、私達の町では、その中に「花」に関わる運営費も含まれている。

たかが花のために税をつかうなんて無駄だと考える人もいる。しかし、花があることで、この町は明るい町になっていると感じる。私はボランティアの方がおしゃべりをしながら楽しそうに花を植えているのを目にする。そうすると見ている私も、和やかな気持ちになる。道でこれらの花に出会うとき、花はしゃべらず、いつもそこにいるから、どんな気持ちで歩いていても癒やしのパワーをもらっている。しかもそれは一定の人のみに与えられるものではなく、みんなが楽しめるものでもある。私は花がたくさん咲いている場所に行つたとき、親子や老夫婦、学生など、幅広い年代の人がそこを訪れているのを目にした。それを見て、花は年代を問わず楽しみを分かち合えるものなんだと感じた。花は葉のざわめく音、におい、色など、見たり聞いたり、かいだり、多くの楽しみ方がある。それによつて花はいろいろな人に元気を与える。このみんなが花を楽しむ雰囲気はまた、見附市の平穏な毎日を支えていると思う。

私は中学の時にこの町に引っ越してきたが、花がたくさんあるこの町を気に入っている。みんなでお金を出し合つて、この市の明るい雰囲気や、色をつくっているのが見えて、私はとてもいい町だなと感じ、そんな町をつくつてくれる市民に感謝の思いを持った。市民の思いが詰まった花は今日もまた、人々にパワーを与えているに違いない。

長岡地区租税教育推進協議会 会長賞 優秀

税金に支えられた日本の力

新潟県立長岡高等学校

二年 米坂 羚

日本は、科学技術の分野で世界的に高い評価を受けている国です。これは、私たちの生活を向上させるための研究や技術開発が税金によって支えられているからです。税金は私たちがより良い社会を築くための重要な財源であり、その用途の一つとして挙げられるのが宇宙開発や基礎研究です。

まず、宇宙開発における税金の役割について考えてみましょう。日本の宇宙開発は七十年近く前に始まり、現在まで小惑星サンプルリターンや月探査、国際宇宙ステーションへの参加などを始めとする様々なプロジェクトが行われてきました。その積み重ねにより日本の宇宙開発、科学技術力が世界に認められるようになったのは、ひとえに税金のおかげと言っても過言ではないでしょう。また、宇宙開発の成果は通信技術や気象予測、地球環境の観測など幅広い分野で私たちの生活に直接影響を与え、利便性や安全性の向上に貢献しています。

次に、基礎研究についてです。基礎研究は実用化に至るまでに長い時間がかかりますがその結果として新

しい技術や知見が生まれます。日本の大学や研究機関で行われている基礎研究は税金を使って進められています。例えば、ノーベル賞を受賞した山中伸弥教授のiPS細胞の研究は、日本の基礎研究の成果として世界的に注目されています。このような研究は、医療分野やその他の技術革新に大きな影響を与え、多くの人々の生活を改善する可能性を秘めています。税金が基礎研究に投じられることで、こうした革新が現実のものとなり、日本の科学技術の地位を高めています。

さらに、税金は大学や研究機関と企業の連携を支援するためにも使われています。大学の研究室で生まれた技術が企業の製品開発に役立ち、最終的に消費者の手に届くことで経済の活性化にもつながります。

このように、税金は日本の国際競争力の強化に寄与しています。世界中で技術革新が進む中、日本も国際的な競争に参加しなければなりません。税金によって支えられる研究機関や大学の存在は、日本が世界の最前線で競争力を保つたために欠かせない要素です。新技術の発展や学術的な成果が国際的な評価を高め、経済的な利益をもたらすことにつながります。

私自身、将来研究職に就きたいと考えています。そのため、税金がどのように使われ、どのように国に貢献しているのかを理解することは特に重要です。税金は単なる支出ではなく、未来を創造するための投資であることを深く理解し、これからの研究に対する意識を高めていきたいです。私は、税金が支える科学技術の発展により、社会はより豊かで、より素晴らしいものになると信じています。この理解、信念をもって、自分ができることを考え、実行していきたいと思えます。

長岡税務署管内税務団体連絡協議会 会長賞 優秀

自分と家族を守るもの

長岡凜晴高等学院

三年 田村 叶

税金という言葉を知った時、私が最初に思いついたのは「税金を払う」ということ。なぜなら、私は電車や新幹線をよく利用するからです。

私は、特に高校に入ってから、通学の際に電車を利便して使います。友達と遊びに行く時にも、交通手段として便利だと感じました。

税金の使われ方についてもっと知りたいと思い、私はインターネットでさらに調べてみました。そこで、国税庁ホームページの「税の学習コーナー」を見て考えました。

税金の使われ方について、身近なところで使われている、三つのことが説明されていました。

一つ目は、病気になる前の医療費です。私達が病院で受ける診察代や薬代の一部を補助するために使われています。このおかげで医療費の自己負担が軽減され、お年寄りや体調が悪い人が安心して医療サービスを受けられるようになっていきます。

二つ目は、年金です。年金は、老後の生活を安心して生活できるようにするためのお金で、その一部は税金で支えられています。働いている人達が払う保険料

と税金が一緒になって、年金が支払われています。だから、税金のおかげで、安心して老後を過ごせるようになっていくのです。

三つ目は、介護です。介護費用の一部は税金でまかなわれています。これにより、高齢者や障害者が必要なおかげで、介護施設や保険制度も運営されて、私達が安心して介護を受けられます。

ここまで調べた中で、私が一番興味を持ったのは介護でした。なぜなら介護は、自分や家族にとって必要なものだからです。

高校二年生の冬頃に、おばあちゃんがくも膜下出血で入院しました。コロナが流行ってからはお見舞いに行くことも出来ず、とても心配しました。ですが、それ以上に退院した後、後遺症が残っていたので、リハビリが必要でした。そんな時に、デイサービスでリハビリも含めた介護サービスを利用しました。

介護サービスのおかげで、後遺症も改善し元気になりました。おばあちゃんとは別々で暮らしていましたが、介護施設のSNSを通じて、元気な姿も見ることが出来ました。

もしこの制度がなかったら、おばあちゃんは後遺症で辛い生活をしていたかもしれません。このことから、自分や家族が高齢になった時の介護は必要なため、それを支える税金の仕組みは、とても大切なものだと思います。

税金の作文を書くことを通じて、私は税金と介護との関係を改めて知ることができました。私達の生活を支えるために、税金がどのように使われているのか、これからはテレビで最新のニュースを通じて、学んでいきたいです。